

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通会議
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	平成30年8月23日(木) 午前10時～正午
開催場所	小金井市市民会館「萌え木ホール」A会議室
出席者	<p>【委員(敬称略)】 坂本敬、平野武、青木亮、境智子、豊嶋吾郎、依田修、田崎達久(代理出席)、古谷弘文、関根康洋、小川将和(代理出席)、門井正則、信山重広、鈴木文彦、柳瀬光輝(代理出席)、吉野茂、日野靖久、桂川泰広、東山博文</p> <p>【市事務局】 堀池浩二(都市整備部交通対策課長)、府川真之(都市整備部交通対策課交通対策係長)、旦野未来(都市整備部交通対策課交通対策係主事)、パシフィックコンサルタンツ(株)</p>
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	1人
傍聴不可の理由等	
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 小金井市コミュニティバス再編事業の概要及びスケジュール</p> <p>(2) 小金井市コミュニティバスに関するアンケート調査</p> <p>(3) その他</p> <p>[資料]</p> <p>(1) 小金井市コミュニティバス再編事業概要(資料1-1)</p> <p>(2) 事業スケジュール予定(資料1-2)</p> <p>(3) 小金井市コミュニティバス再編に関するアンケート調査の概要</p> <p>(4) 市民アンケート(依頼文、調査票(案))</p> <p>(5) 利用者アンケート(依頼文、調査票(案))</p> <p>(6) 小金井市地域公共交通会議のみなさまへ</p> <p>(7) 武蔵小金井駅南口～武蔵境駅南口系統の再編について</p> <p>(8) 小金井市地域公共交通会議設置要綱</p> <p>(9) 小金井市地域公共交通会議委員名簿</p> <p>(10) C o C o バスパンフレット</p>

発言内  
容・発言  
者名（主  
な発言要  
旨）

## 事務局

平成30年度第1回小金井市地域公共交通会議を始めさせていただきますと思います。本日はお忙しいところ本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

### －会議成立の報告－

続きまして、前回の会議以降、人事異動等により1名の委員の方が変更となりました。平成30年8月1日付けでご就任いただきました、西武バス株式会社運輸計画部長、関根康洋様でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、小金井市コミュニティバス再編事業を実施するに当たりまして、支援事業者を紹介させていただきます。パシフィックコンサルタンツ株式会社（以下「PCKK」とする。）様です。よろしくお願いいたします。なお、PCKK様には、今後事務局として本会議に入っております。

続きまして、お手元の今日の配布物についてご一緒にご確認いただきたいと存じます。

### －資料確認－

これをもちまして、私の職務は終了いたしましたので、会長と交代させていただきます。

それでは、会長、議事の進行をお願いいたします。

## 会長

それでは、これより第1回小金井市地域公共交通会議を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日の議題としてはその他を含め3つ用意されております。最初の議題(1)につきましては、前回概略が説明され、その方向で実施することとなった内容ですが、支援事業者が先ほどご紹介のあったPCKKさんに決まり、本格的に動いていく形になりますので、再編事業に関するスケジュール等について確認をしていきたいと思っております。

それでは議題(1)について、事務局から説明をお願いします。

## 事務局

それでは議題(1)について、今年度より再編事業を実施することとなりましたので、改めて事務局より概要、スケジュールについてご説明させていただきます。

お手元の資料1-1、「小金井市コミュニティバス再編事業概要」をご覧ください。こちらの資料は、本市市議会平成30年度第一回定例会における提出資料でありまして、また前回の地域公共交通会議における配布資料と同様のものとなります。

－ 資料 1 - 1 に沿って説明 －

4年間の具体的な事業スケジュールについて、資料 1 - 2 に沿ってご説明させていただきます。

－ 資料 1 - 2 に沿って説明 －

本事業については、基本的には本会議委員の皆様にご協議いただきながら進めてまいりたく考えております。地域公共交通会議の概ねの開催回数及び時期は、資料 1 - 2 「会議等」の欄をご覧ください。

また、コミュニティバスの再編計画について、市民の方からご意見を聴取する機会といたしまして、地域懇談会の実施を考えております。地域を概ね4地区に分け、平成31年度に2回、平成32年度に1回、と各地域において合計3回の実施を想定しております。

以上がC o C oバス再編事業についての概要及びスケジュールとなります。

#### **会長**

ありがとうございました。それでは、ご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思います。

#### **境委員**

このぐらいのことをやるのに4年もかかるのですか。もっと2年ぐらいに期間を短縮できないのですか。

#### **事務局**

スケジュールについては、事業者とも調整した形になります。今回再編事業として行っていく際にはこれまでのニーズ、現況を含めて、まず現状分析を行います。そしてそれを踏まえて、ゼロベースでルート・ダイヤ・運賃を全て見直しを行っていく考えを持ってございます。また、今後想定している庁舎移転などの予定も踏まえると、市民の皆様と対話をしていく必要があります。これらを総合的に考えますと、我々としては4年ぐらいのスパンは必要であると判断しているところでございます。

#### **豊嶋委員**

なぜゼロベースで見直さなければいけないのですか。ゼロベースで見直すのなら恐らく4年ぐらいかかるというのは今の説明で理解できるのですが、ゼロベースで見直すきっかけというのが明確ではないような気がするのですが。

## 事務局

なぜゼロベースなのかということになりますと、まずは資料1-1の事業概要に書かれているとおりになります。平成15年から17年ぐらいにかけて、概ね現在のルートができ、また、ムーバスも入ってきたところですが、中央線の高架化、武蔵小金井駅南口の開発や北口のロータリーの整備、東小金井の区画整理事業など、C○C○バス導入当時から多くのまちの変化がありました。そういった中で、当時から、南北へ行きたいというご意見や、乗り継ぎの関係や、もっと広く地域をくまなく回ってほしいとか、利便性を高めてほしいといったご意見等が寄せられているところですが、約15年経過したことで、当時と現在で地域性が変わっており、バス路線の本数やルートも変わってきておりますので、改めて交通不便地域を明確にした上で、新たなルートを構築していこうというのが、「ゼロベースで見直す」という基本的な考え方でございます。

## 豊嶋委員

1つわからないのは、エビデンスが明示されていない。例えば金額面で言えば3,000万円の赤字が出ているというのは明確にありますが、それ以外に変えなければいけないという明確な理由が見えない。JRの高架化が完了し、まちの状況も変わったというのは漠然とは感じています。また、3,000万円の赤字というけれど、こういう地域のコミュニティ交通が3,000万円赤字だといけないのか、ならば1,000万円だったら良いのかと、そういう議論になってしまいます。見直さなければいけないというのはわかるのですが、何が良くないのでどこを見直さないといけないのかが入ってこない。アンケート調査をやることで、利用者の皆さんから集めた意見から変えていくということなのでしょうか。

## 事務局

C○C○バスの運行開始当初から約15年経ったにもかかわらず、ルートやバス停等がほとんど変わっていない状況がある一方で、小金井市内の地域性や、路線バスの状況等は変わっています。その中で、前回会議でも資料として出していますが、各ルートにおいて市民、利用者から意見要望として多々上がっている部分があります。議会での質疑もありますが、そういったご意見を踏まえた中では、現状を手直ししただけではなかなか改善が難しいと考え、新たにゼロベースで検討をさせていただくというところではあります。

## 東山委員

私の方から補足します。当時の市長から武蔵野で走らせているムーバスを小金井でも走らせたいという話が出まして、ともかく路線を選定した、という経緯でC○C○バスが始まりました。

た。いわゆる行政主導です。今回も行政主導であれば4年もかけずに2年ぐらいで確かにできるかもしれません。ただ、この予定表に書いてある地域懇談会やアンケートの実施といった、市民の意見をまとめて反映させるにはかなりの時間が必要になります。また先ほども説明がありましたが、その当時は中央線がまだ下を走っており街が北と南に分かれていた状態のまま、とにかく走らせようといった状況から進めてきました。しかし15年経過したことで市の状況もこれだけ変化したため、今回市民の皆様からいろいろ情報をいただきながら進めたいということが念頭にあり、時間は一定必要であると考えています。実際、立川市が見直しを行った際には、4年ぐらいかけています。今後いつまた変えることがあるかどうかわかりませんが、今回変えれば多分当分の間は変えないと思いますので、ルートや料金等、適切なものに出ると良い。そういったことも含めた上で今回の再編事業は進めてまいりたい、ということでご理解をお願いしたいと思います。

#### **境委員**

この4年間かけるというのは、庁舎との関連でリミットが引かれているのではないですか。

#### **事務局**

事業開始は新庁舎移転に合わせる方向で考えています。

#### **会長**

想定される新庁舎の状況からして、移転の時期に抜本的に改善をする計画で進めた方が、合理的な話だと思います。

#### **坂本委員**

去年までの議論の中で、C o C oバスに対する市民からの要望と、市の庁舎移転に伴う抜本的な問題、要するに近い問題と遠い問題を分けて対応すべきという意見を出しました。今出たご意見は「この15年間に苦情とか要望を出してきたのに、また更に4年かけて解決するのか」という近い問題です。一方で、市も行政ですから市庁舎ができたことによって路線を変えざるを得ない。それは去年言わせてもらった長期的な視野における平成34年を目途にする改革になります。今会長が言われたように、市庁舎に伴って抜本的なというのはわかるのですが近い問題というのはどうされるのですか。

#### **事務局**

これまでの市民要望ということで、一覧表の形にして本会議でもお示ししたことはございます。これらの問題を踏まえて、では実際に要望は上がってきているけれども、それが1人なのか2人なのか、どの程度の人が本当に必要としているのかが未

知数ということが1つございます。ここを通してくれという要望が出たとしても、何人が望んでいるのかというのは客観的な調査等を行った上でやっていかないと、なかなか正確な判断ができません。一方で、再編事業をこれから進めていくに当たって調査等を行っていきますので、そういった個別のニーズも今回の分析によって確認していけるのかなということを考え、長期的な位置付けで検討していきたいと考えているところです。

しかしながら、原則は長期的な課題として取り扱いますが、当然状況の変化というのはございますので、そういったことを踏まえると、この後議題3「その他」でもご説明させていただきますが、部分的には短期的な課題として対応させていただく考えは持っております。

### 会長

例えば新たにルートを引くとなると、今走っているところの一部を他へ振り替えることになり、その部分は運行をやめるといった話になります。このような場合は、それなりの時間をかけないとできません。一方で、現状のルートの中で、例えばダイヤの調整などは運行事業者さんと調整することで実現可能なので、比較的短期間でできるかもしれません。どちらにしても、時間がかかるものと比較的短期間でできるものとの違いは施策の中にあります。事務局が言われたのは、現状の路線の中でダイヤ調整などの可能性だと思います。路線を変更して新設区間、廃止区間が出るというようなことになると、実際の手続だけでも確実に半年ぐらいはかかるため、ある程度の期間を見なければならぬ。3年半後ぐらいに想定される新庁舎移転の時にいずれにしても何らかの手を加えなければならぬとしたら、その時を目指してやった方が良いでしょうという考え方もできるかなということです。

### 境委員

一市民としてはすごく4年が長いです。でもこの4年というのは変えるわけにはいかないのですよね。

### 会長

変えるわけにはいかないというより、庁舎移転の時は何らかの手を加えざるを得ず、仮に短縮しても2年ちょっとかかるということを見ると、一度ルート等を変えてまたすぐ1年後に変えるかという話になります。

ただ、一定の時間がかかる必要があるのは事実です。バスは国の認可事業であるため、具体的な手続だけでも結構時間がかかります。その中で4年が適切なのか、3年が適切なのかというのは、多少の幅はあります。私も今までいろいろなコミュニティバスの新設や再編に関わってきましたが、新たな路線を形成する場合は最低でも3年ぐらいはかけてニーズをきちんと把

握する必要があります。財政負担で実施することでもあるので、本当の地域ニーズがどこにあるのかといったことは調査でしっかり把握しておかないと、せっかく作っても誰も使わず、結局空気を運んでいたのではしょうがありません。そういったことを考えると私の経験から言っても短くても3年ぐらいはかかる。これらを踏まえると、新庁舎移転の時に何らかの見直しが必要になるのであれば、その時期と合わせる方が良いだろうという気持ちは私もあります。

関根さん、今まで関根さんと私もあちこちでコミュニティバスをやってきましたが、関根さんのご経験からはどのような感触をお持ちですか。

### 関根委員

私の経験でも3年ぐらいはかかるという印象があります。ただ、小金井市の場合は新庁舎の絡みがあるので、逆に1年早く議論がスタートしているとも考えることもできます。近隣市の事例でも、既に存在するルートがあつて、そこを起点としてルートが増えるというのは、割とスピーディにできます。ただ再編となると、区間が廃止になって不便になる地域が出る場合には、そこに住んでいる人からすると非常に大きな問題になります。市長さんが変わったことでコミュニティバスをパッと変えたけれども、結局駄目でまた戻したという事例も結構あります。そういった中ではアンケート調査とか地域の方々の意見をもっと聞くような形で集約するべきだと考えています。全員が満足するのは難しいと思いますが、できる限り満足度の高いものに変えていくと考えると、3年ぐらいは必要だと思います。

### 会長

ありがとうございます。じっくり意見を聴取し、あるいは意見交換していくような機会を大切にするというつもりで取り組んでいただけるとありがたいです。

この問題はきちんと取り組んでいかないと、先ほど関根さんのお話にありましたように、方針転換はしてみたけれども再度の見直しをせざるを得ないというケースも実際にあります。全てが満足するものではないと思いますが、じっくりと議論できると思いますので、こんなスケジュールで進めさせていただくということではいかがでしょうか。

### 坂本委員

再編事業のスケジュールとしては、むしろ前倒しでやっているということは私もわかります。ただ、本当に広く意見を聴取しないと実態が分からない問題もあると思うのですが、こういった大きな流れをやると、小さな問題点が置き去りにされる傾向があるので、その辺りは気を付けながら進めていただきたい。特に民間の交通機関が縮小していくことに対して、自治体

が対応すべきか、しないのかといったことも、丁寧に議論をしていかないといけません。みんなに百点満点の答えは出ないため、例えば「Aという会社のバス路線があったけど、カットされました。だからと言ってC○C○バスを簡単にすぐ回すわけにもいかない」ということを、住民にも丁寧に説明しなければいけません。またその辺を検証して、対応可能なものがあるのであれば、この大きな流れとは別に丁寧にやっていただきたいというのが私の意見です。

## 会長

短期でできる改善というのはもちろんあります。その時点での問題についてはきちんと議論していくのがこの会議の役割です。それはもちろんやっていきます。

それでは、議題(1)についてはそのように進めさせていただく、ということで集約させていただきたいと思います。

今回の事業というのは、ゼロベースという言葉がありました。全面的にC○C○バスを抜本的に見直していくということ。1つの目標にこれから議論をしていきます。その中でまずは地域のニーズを把握する基礎としてアンケート調査を実施します。アンケート調査をすること自体は前回もお話をしてのことですが、議題(2)で議論させていただきたいと思います。

この議題について、事務局より説明をお願いします。

## 事務局

それでは、議題(2)について、まずはアンケート調査の概要についてご説明をさせていただきます。

なお、本アンケートにつきましては、本日の検討結果を踏まえ、小金井市議会第3回定例会建設環境委員会にも報告する予定としております。

それでは資料「小金井市コミュニティバス再編に関するアンケート調査の概要」1ページをご覧ください。

### — 資料に沿って説明 —

続きまして、2ページ目以降ご説明させていただきます。

まず「①再編におけるアンケートの位置付け」として、今回の調査する設問項目が、再編案の中で具体的にどこでどのように使っていくのかというところを、図で示しております。

左側に大きなフローで流れを書いておりますが、まず現状のバス路線網がある中で、今回新庁舎の移転が絡むということもあり、C○C○バスだけではなく、路線バスが変わる可能性もあることを考慮し、まず路線バスの再編案を置きました。C○C○バスは基本的に路線バスを補完するものと考えておりますので、路線バスの再編案を受けた中でC○C○バスをどう再編していくのかという考え方になります。ただし、路線バスの再



編案に対し、コミュニティバスとしての財政負担についてどの程度が望ましいのかという点を踏まえた上で、必要に応じてC o C oバスの再編案を見直していくことを考えております。

各アンケートの位置付けを、資料中ほどで市民アンケートを、右の方で利用者アンケートを整理しています。

市民アンケートについては市全域を対象としているということで、路線バス沿線に住んでいる方とC o C oバス沿線に住んでいる方の両方がいらっしゃいますので、路線バス・C o C oバス両方の利用実態や利用意向などを聞きます。この矢印が2本出ているところについては、「路線バスに対する利用実態やニーズ」と、C o C oバスの再編案の材料としての「C o C oバスの利用実態やニーズ」、この両方を市民アンケートでは聞いていきます。

一方で、右側の利用者アンケートにつきましては基本的にC o C oバスを今使われている方が対象となるため、C o C oバスを対象に利用実態やニーズを聞いていきます。

資料一番下では、財政負担額の検討材料として、市民目線と利用者目線の両方から、「どれぐらいの財政負担が望ましいのか」という点を両方のアンケートで聞いていきます。

資料2ページ下②については、ガイドライン作成用の材料として、「C o C oバスの費用負担に対する意向」をこちらでも使うことを考えております。

3ページ目が具体的な設問構成になります。こちらは市民アンケートを示したものです。

まず1番では、性別・年齢・住所等の属性を聞きます。こちらは基本的にクロス集計に使う材料になります。

1-5から1-11ではバスを使いやすいところに住んでいるのか、使う可能性があるのかといった「バスの客観的な利用可能性」を把握するための設問になります。

次の2番が路線バス・C o C oバスの利用実態です。そもそもバスを使っているのか、また、バス利用の目的・時間帯・頻度・目的地等を聞いていきます。

3番では、今はバスを使っていない方も含め、バスを使いたいと思っているのか、バスによる移動がある場合の目的地や利用目的など、バスの利用意向を聞いていきます。

4番がバスを利用するための条件、サービス水準になります。バスを使いたいと思っているのであれば、どのぐらいのサービスであればバスを使ってもいいのかという点を把握するための設問で、運行間隔や始発・終発時刻、バス停までの距離などを聞いていきます。

5番の乗り換えは、バスサービスの一環と考えております。サービスの一環として、乗り換え、または再編を進める上で新たな乗り換えが生じるということも想定されるので、乗り換え自体への許容に対する意向、また乗り換えが発生した場合の待ち時間や料金などがどのぐらいであれば許容できるのかという

ところを聞いていきます。

続きまして4ページの6番は、新庁舎等への乗り入れに対する意向調査になります。こちらは新庁舎が移転した場合にバスが乗り入れてほしいという意向や、実際に乗り入れた場合は利用したいと思うかといったところを聞いていきます。

7番がC o C oバスの費用負担、計画・運営方法に対する意向調査になります。費用負担の考え方や補助金の負担割合、C o C oバスの望ましい運賃水準などを聞いていきます。こちらは再編とガイドラインの両方に活用することを考えています。

最後の8番は自由記述で、具体的なお意見を頂戴します。

続きまして、5ページが利用者アンケートでございます。大きな構成は市民アンケートと大体同じになっております。

この利用者アンケートは基本的にC o C oバス利用者を対象としていますので、2番ではC o C oバスの利用実態を聞いています。

3番の費用負担、計画・運営方法に対する意向については、市民アンケートと順番が変わっていますが、4番のC o C oバスを利用するための条件、具体的にどのぐらいのサービスが望ましいかという設問を解答する前に、C o C oバスの運行には市が財政負担をしているということを認識していただくためです。内容自体は市民アンケートと同じです。

続きまして6ページ目、こちらにも基本的には市民アンケートと同様の内容なので割愛させていただきます。

次に、調査票について簡単に構成を説明します。

#### － アンケート調査票（市民・利用者）に沿って説明 －

実際に調査を行う際には依頼文という形で、調査の趣旨や記入方法などの説明を付けた上で、調査を実施いたします。

説明については以上です。

#### 会長

ありがとうございます。それでは、今のご説明につきましてご質問、ご意見をいただきますが、このアンケートは9月に実施予定となっており、この後の再編事業のいわゆる最初の調査になります。こうしたタイミングの問題もあるため、もちろんご意見をいただいた上で修正があれば反映した形になりますが、本日何らかの形で議決したいと考えております。それでは、ご質問ご意見等いかがでしょうか。

#### 豊嶋委員

平成13年度も恐らく2,000名を対象にしていたと思いますが、10万人に対して2,000人がアンケートの取り方として一般的なのでしょうか。

もう1点、アンケート内容を見ていて、バスとC o C oバス

が内容的に混同しているのですが、このアンケートを踏まえて路線バスが変わる可能性もありますか。

### 事務局

概ね統計学的には10万、12万程度のところであれば2,000が妥当とされているところです。ご指摘のとおり前回は2,000通で行っており、今回も同等と判断しております。路線バスへの影響については、今後のバス事業者さんが別途検討するものと考えており、本会議ではあくまでコミュニティバスの再編が対象と考えています。

### 豊嶋委員

アンケートの中で路線バスとC○C○バスが入っているのですが、「バスをあなたは使いますか」という質問になっていて、C○C○バスなのか路線バスなのかはっきり明確に分かれていません。市民アンケートのバスの利用意向では、バスを使いますか、使いませんかという質問になっているので、これではバスそのものを使うかどうかになり、C○C○バスを使うという考えが出てこないような気がします。また新庁舎には何が乗り入れるのかといったときに、バスを乗り入れた方がいいかどうかという設問になっています。人によっては、C○C○バスを入れてほしいという人もいるだろうし、路線バスを入れてほしいという人もいると思いますが、このアンケートでそのような意向が拾えるのでしょうか。

### 事務局

路線バスとC○C○バスの区別についてご説明します。まず市民アンケートですと設問2番の利用状況となりますが、こちらについては路線バスとC○C○バスを判別できるようにしています。設問3番ですが、今の段階では、路線バスとC○C○バスを区別してどちらに乗りたいというのを聞く必要はないと考えております。これと併せてサービス水準も聞いていますので、運賃が100円、200円でないと乗らない、といったことはサービス水準という形で把握できるようにしております。これからC○C○バスのサービスを見直していく中で運賃等も変わっていく可能性があるため、現在のC○C○バスに乗りたいたか、そこを区別して聞くような形にはしておりません。

### 豊嶋委員

このアンケートの目的はC○C○バスの再編ですよね。そんなざっくりでは結果は出てこないと思います。

### 事務局

例えばC○C○バスは今100円ですが、今後の再編でこの金額に関しても議論をしていく可能性があります。今の100

円を前提として聞いてしまうと、再編がされて金額が変わった場合には使わないのか使うのかという点が不明確になってしまいます。100円であれば乗る、180円であれば乗らないというような動向を拾うようにするためには、まずそもそもバスで移動するか、その移動は100円を前提にしているのか、それ以外の金額も含めて考えてくださっているのか、というような形で利用できるよう、設問を設定させていただいています。

### **坂本委員**

専門家はそう思うかもしれませんが、一般の市民がこれを配られ、コミュニティバス再編のアンケートだと言われたら、このバスというのは全部C○C○バスだと思って回答するのが普通ではないですか。要するにC○C○バスについてだけ聞いているのか、一般の路線バスも含めて聞いているのか、これではクリアになっていないと思うのですが。

### **事務局**

説明を補足させていただきますと、概要の1ページ目にあるように、今回2つのアンケートを同じような形で作っていて、同じような形で配布しているため混乱を招いている部分もあると思いますが、利用者アンケートはC○C○バスの車中で配るので、基本的にC○C○バスを対象として、利用実態やニーズを聞いているという形です。

対して市民アンケートでは、市民全体の中から無作為抽出して配るという形なので、C○C○バスだけでなく、当然路線バスの沿線に住んでいる方もいますので、路線バスのニーズも含めて聞いています。ただ、そのニーズについて、C○C○バスと路線バスを明確に分けて聞く必要があるかという点については、これからC○C○バスのサービスも見直していく中で、例えば路線バスと同じ運賃になることもあり得なくはありませんので、「現在のC○C○バスに乗りたいと思いますか」というような直接的な聞き方はせず、「どのようなバスで、どのようなサービスであれば乗りたいと思いますか」というような聞き方を市民アンケートではしています。

調査票のタイトルについては、ご指摘のとおり、現在の表現では混乱を招くと思いますので修正させていただきます。

### **豊嶋委員**

今言ったように、C○C○バスに乗っていない人の発掘もあるので、C○C○バスに乗っている人に詳しく聞くだけでは駄目です。どちらかというに乗っていない人の意見が今入っていませんが、そちらのほうが大事なのかなと思います。

### **会長**

市民アンケートについて、アンケート調査の内容そのものは

潜在需要や現在利用していない人のニーズを拾うことが可能な内容だとは思いますが。ただ、1つ表題の問題として、市民アンケートは、路線バス、C o C oバスを含めたバスの利用意向に関するアンケートということがわかるようにする。

それから、このアンケート調査の設問2や3の「バスの利用状況」「バスの利用意向」というところを少し丁寧に、「路線バスやC o C oバス（またはムーバス）の利用状況」という形で丁寧に書くということではいかがでしょうか。

### **坂本委員**

アンケートを出した方の意図がちゃんと伝わっていないと意味がない、答えた方もそんなつもりで答えていないというのがあってはいけないと思うので、今会長が言われたように丁寧な言葉でやっていただきたい。

### **豊嶋委員**

調査票の内容について私は特に問題はないです。

### **会長**

内容としては、小金井市内の移動では路線バスが担っている部分とC o C oバスが担っている部分があり、全体的なネットワークの中で、ニーズがどこにあるかという調査をすることは必要だと思います。恐らく意図する答えはこの設問の中で得られるだろうと思いますが、今のご意見のように確かにどちらか分からずに調査票に回答するよりは、はっきりと意識していただいた方がいいですね。

では、まず設問のタイトルについては少し丁寧に、市民アンケートについては全て「路線バスやC o C oバス（またはムーバス）」という表記にする。ご協力をお願いの表題については一見してわかりやすい方がよいので、表題そのものは「路線バスの利用状況と利用意向について」のようなタイトルにして、その下に「小金井市コミュニティバス再編に関する調査」というような形にしましょう。また、お願いの文章の中でこの調査結果は小金井市のコミュニティバス再編に活用することを明記することとし、「現在、調査分析を進めています」の後に、「このアンケート結果はこの調査の中で活用させていただきます」というような書き方をしましょう。

文章そのものについて基本的にはこれで問題ないですか。

### **豊嶋委員**

文章は良いと思います。

### **境委員**

このアンケート調査の中で、市民アンケートは住民基本台帳から抽出されますよね。そうしたら設問1-3でみんな○をつ

けてくるのだから、前原町とか貫井南町とか町名を書いて○を付けるようにしたらどうですか。それから、あまり長いアンケートというのは皆さん書き慣れていないので、次の設問まで点線でたどってあげるのが親切かと思います。

#### **事務局**

わかりました。

#### **境委員**

この抽出方法ですが、住民基本台帳から無作為にとあるのですが、町別に分けて捨てるのか、それとも頭から500番からの方向番と捨てるのですか。また、利用者アンケート票はどなたが配るのですか。

#### **事務局**

抽出の仕方ですが、市の情報システム課という部署で住民基本台帳にリンクしているシステムがあります。市全体の人口から、町別の人口割合に応じて無作為に抽出していくというようないやり方で対応していく予定でございます。

また、市民アンケートは郵送しますが、利用者アンケートにつきましては、平日と休日にPCKKの方で調査員を配置し、基本的には車内に入って、乗降のカウント調査、あとは調査票をお渡しするという作業をします。

#### **境委員**

それを郵送で返してもらおうということですよ。郵送回答は回収率が悪いので、聞き取り調査という方法にできないのですか。聞き取り回収であれば8割は集まります。アンケートを集めた後、集計・分析といった専門的な部分は専門家による対応でも良いのですが、小金井市の中で登録している調査員さんがいるのだから、その人たちを利用すれば、市民でCOCOBASのこともよくわかっているのだから、良い結果が出ると思います。

#### **事務局**

調査のことにつきましては、委託の仕様書の中に調査を入れており、PCKKの調査の中での人員配置にて予算を組んでいますので、今回はPCKKにお願いすることとしております。

#### **豊嶋委員**

そうした答えではなくて、そもそも市の職員では人手が足りないから委託したと答えるべきでないでしょうか。予算の中に入っているからという答えでは、そもそもなぜ予算に入れたのということになります。

### 事務局

こうした調査等について、市は専門的ではない部分がありますので、あくまでも技術的、専門的見地から委託しています。その中で調査も人員配置もお願いしているというところです。

### 境委員

ここまでは市の職員がやって、あとは業者に投げて、ただ結果が来てこうですというのでは何の意味もないと思います。このアンケートは、何で業者に出さなければならないのですか。

### 事務局

実際には再編事業を実施するに当たり、こういった事務作業や様々なアンケートの調査であったり、いろいろ作成物を作ったり、そういうところは専門知識を有するコンサルタントの方が良い。市としてこれだけの業務に対してのノウハウや人員体制はなかなか取れないため、基本的にはPCKKの技術的支援を委託しているところです。職員は当然市として携わります。境委員がご指摘されているのは多分国勢調査などの調査員のことかなと思いますが、基本的にはそれらの調査に対しても報奨費が発生すると思いますし、本事業では委託業務としてPCKKの中でやっていただく契約になっているため、そこについては難しいと回答させていただきます。

ご指摘の聞き取りという調査方法も確かにありますが、本調査のように調査項目が多いと、1人に対して時間がかかることが予想されますので、より多くの人員配置が必要になります。

あと、平成22年度に市の方で1度調査を行ったことがあり、その際も同様に市民アンケート及び利用者アンケートを実施しました。その時の回収率は、市民アンケートは約49%、利用者アンケートは約50%ということでした。一般的な見解ではこの種のアンケートでは30%ぐらい返ってくれば良い方だと聞いたことがあったのですが、それ以上の返答率になっておりますので、ここについては小金井市民の意識の高さが出ており、今回のアンケートでも一定の回収率は期待できるのかなと考えております。

### 平野委員

市民アンケートの3ページ、2-4ですが、回答項目として1から6まで書いてありますが、6番、「月に1日未満」という表現はわかりにくいので、例えば「年に数回」とかいう表現ではいかがかなと思います。

もう1点、8番「小金井市内の公共交通について」云々とありますが、利用者のアンケートについてはここが「C o C o バスや小金井市内の公共交通について」という表現になっておりますから、一緒にした方がよいのではないかと思います。

**会長**

ありがとうございました。これは私もそのとおりだという気がしますが、いかがでしょうか。確かに月に1日というのは表現としておかしいので、「年に数回」か、あるいは「ほとんど利用しない」とするか。

**事務局**

その方向で修正させていただきます。

**平野委員**

利用者アンケートについての質問です。2ページの2-2、「あなたが普段最も利用しているC○C○バス」という表現ですが、C○C○バスで利用者が1年に1回たまたま来たという場合もあります。例えば、はけの森美術館に行く人とか、小金井公園に行く人とか、年に何回かしか来ない方にしてみれば、2-2の設問というのは回答しづらいのではないのでしょうか。

続きまして、3ページの2-9、「現在はC○C○バスを利用していないが」と書いてありますが、利用者さんに配布するアンケートですから削除した方がいいのではと思います。

以上、利用者アンケートについて2点です。

**会長**

いかがでしょうか。例えば初めてC○C○バスに乗って見たらたまたまアンケートを配られたというケースも、もちろんあるでしょう。

**事務局**

設問2-2は、普段なのか、本日利用したルートなのか、そのどちらかなと思っていますので、検討させていただきます。

**会長**

2-9のほうですが、確かに「利用していないが」というのはあまり表現が良くない。

**坂本委員**

「C○C○バスを利用して出かけた目的地はありますか」で良いのではないですか。

**事務局**

誤解を招かないような表現に修正させていただきます。

**平野委員**

2-4ですが、市民アンケートと同じです。「月に1日未満」の訂正をお願いしたいと思います。



## 会長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

## 豊嶋委員

今回はウェブ上でのアンケートは考えていないのですか。統計学的には恐らくこれぐらいでいいと思うのですが、幅広く聞くのだったら、任意でネットでホームページを立ち上げて実施するというのも1つではないかと思うのですが。

## 事務局

ご指摘のとおり、ご意見は理解いたしますが、行政として全庁的な判断も必要であると思っていますので、そのご意見については今後の参考とさせていただきますと思います。

## 関根委員

項目がわりと網羅されていて良いなと思ったのですが、やはり分量が多く見えるので、個人的には回答率が50%もいかないのではないかと思います。

特に私が思ったのは、5-3「乗り換えが必要な場合の追加料金」は、路線バスとCOCOBASが混同してしまい非常にわかりづらいです。路線バスはシルバーバスが利用できますがCOCOBASはできないところと、COCOBASのそもそもの運賃料金見直しというところであれば、「追加がいくら」という書き方は今後を考えると難しいでしょう。かといって、1日当たり200円、400円までならいい、という聞き方では、できる限り安く回答されてしまうので微妙なところがありますが、この「追加料金」の表現では混同すると思います。

もう1点が、市民アンケートの7-1、COCOBASアンケートでは3-1にある「自治体等によるまちバスの運行」の高松市の事例という補助の方式が出ています。一般的には選択肢にこういうのを上げるのは妥当だと思いますが、小金井市における自治会の組織率は分かりませんが、これだけコンパクトな市では、自治会とかがこういった形でCOCOBASとかに対して負担するという考え方があるのでしょうか。1%でもあるのならこれは選択肢として残してもいいのですが、ちょっと違和感があります。私は秩父市と関わっているのですが、あちらは小金井市の約50個分の面積で人口は半分です。こういった地域ではお金を出してでもバスを通してほしいとか、コミュニティタクシーを通してほしいという動きは確かにあるのですが、都市部の小金井市で自治会が負担するというのがありますか。

## 坂本委員

小金井市は自治会加入率が低いです。

### 境委員

地形的に坂があるので、新小金井街道から北側は小金井市だけど、南側は小金井市ではないぐらいです。市民税を払うのが嫌という人もいるぐらい不便です。だから、こうしたものは読むのではないかなと思います。

### 関根委員

こういう例があるということを知らせるためにはとてもいいと思いますが、この「3」を選ぶ人がいるのでしょうか。こういう例もありますよという書き方であればいいのかもしれないですが、「費用負担を取り入れるべき」と書いてあるのが、ちょっと引っかけました。

### 会長

では、事例として参考に見ていただく程度のことですので、「取り入れるべき」のところを「考慮する」とかそういった表現に修正することにしましょう。

### 青木委員

関係して2点ほどですが、表現は「べき」だときついかなとは確かに思いますが、ここで例えば高松市の事例というのはすぐこれを小金井市が採用するわけではないので、考えてもらうのにはいいのかなと思いました。

仮にこれを入れておかないと、市が丸抱えにするか、料金を値上げして市が払うのをやめてしまうという二者択一になってしまうので、その意味ではいいのかなと思います。

また、先ほどのウェブアンケートですが、金額的に安いので、予算がないときには我々もよくやります。ただネットはどうしてもデータに偏りが出てしまうため、慎重にやる必要があります。バスなどの公共交通の場合、バスを実際に使う高齢者の方の登録は少ないです。今回はもう予算を取って調査票を配るという話なので、それで実施して大丈夫かなという気はいたします。

### 会長

先ほどご意見が出た回収率について、これも私の今までの経験値になりますが、交通に関するアンケートは非常に関心が高く、回答率が高いです。そういう意味では関根さんご指摘のとおり分量が多いので、確かに50%はどうかというのはありますが、それでもそれなりの回収率にはなるだろうと思います。

もう1つご意見のあったヒアリング調査でご意見をお聞きするという方法も、今回はスケジュールの中に地域懇談会が予定されていますので、そこで上手にできるような方法を入れるべきであると思います。多分C o C oバスのように乗車時間がそこまで長くなく、停留所の間隔も短いところで車内での聞き取り

調査を行うことはかなり大変だろうと思います。そうすると結局地域に入っているいろいろな意見を聞くのが良いという話になりますが、今度は地域懇談会との切り分けが曖昧になってきます。であれば、地域懇談会を上手に活用して聞き取りの調査ができるようなことを考えた方がいいかなという感じがします。

他にはいかがでしょうか。

よろしければ、根本的などころでそんなに大きな修正意見はありませんでしたが、表現等の修正がありますので確認したいと思います。

まず市民アンケートのタイトルのこと。それから市民アンケートの大きな項目のタイトルに明確に「路線バスやC o C oバス（またはムーバス）」を入れるということ。それから市民アンケートの中でどちらにも含まれる例えば「月に1日未満」といった表現の問題。それから「目的地までの追加料金」という表現の問題。費用負担のところの「維持すべき」という表現の問題。それから利用者アンケートについての2-2や2-9の表現の修正がご意見としてありました。

これらについては基本的には表現の仕方と見ていいかと思えますので、修正については会長の私にお預けいただいて、最終的に決まったものをもう一度皆さんにお送りするというような形で進めさせていただくことでよろしいでしょうか。

それでは、そのとおり進めることとしてご了承いただいたと判断させていただきます。

確定版につきましては後日皆さんにお送りしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題(3)その他に入ります。本日、配布資料の中で「小金井市公共交通会議の皆様へ」という資料があります。これは私も今日初めて見た資料なのですが、住民の皆さんの思いというのはあるわけで、これについてのご要望という形になるのだらうと思いますが、どこまでが現状の修正の中で対応できるのかといった内容かと思えます。ただ、今日の段階でこれに対して市がどう対応するといった具体案が出ているわけではございませんので、今日の段階では議題(3)その他の中で、この内容についてのご説明をいただいて、今後の対応については、市から案を出していただくような形で進めていくということをご了承いただきたいと思います。

それでは説明をお願いします。

## 事務局

この度、平成30年7月11日付けで、東町の市民の方より本会議宛に文書の提出がなされましたので、経過等について、簡単にご説明させていただきます。

資料「小金井市地域公共交通会議のみなさまへ」をご覧ください。1枚目が本会議に対する要望書、2枚目が市に対する要請書となっております。また、必要に応じて前回会議でもお配

りました「武蔵小金井駅南口～武蔵境駅南口系統の再編について」という資料をご参照ください。

平成30年7月11日付けで「東町のココバス等を考える会」より、市に対して資料2枚目の要請書が提出され、同日、要請書の内容につきまして、本市議会議員1名、市民6名と市交通対策課と3者で意見交換を行ったところです。

市民からは、前会議にて京王バスよりご報告がありました武蔵境駅と武蔵小金井駅を結ぶ「境81系統」路線について、平成30年4月16日からの減便が実施されました。これを受けまして、当該地域に住む方、特にシルバーパスを利用する高齢者の方の移動手段が大幅に制限され、「移動が困難になってしまった。」「突然の減便で戸惑いを持っている。周知が十分でなかった」、「市は何も対策を考えなかったのか。」といったご意見をいただいたところです。

こうした状況を受け、市に対して大きく4点要請がなされ、資料2枚目の下から裏面にかけて記載されております。

まず1点目「他市でも実施しているようにコミュニティバスにもシルバーパスが利用できるようにすること。」についてですが、現状、東京都シルバーパス事業において、自治体コミュニティバスは、一部の路線を除いて利用できない運行系統として取り扱われており、東京都からの運賃補助を受けることができない状況となっております。そのため、C○C○バスでシルバーパスを利用するためには、都の補助なしで独自で無料化をするしかなく、もし実施した場合運賃収入が減少することから財政負担が非常に大きいといった課題がございます。

こうした状況から、C○C○バスへのシルバーパスの導入については、現状としてはなかなか難しい側面はございますが、今後ますます高齢者の方の公共交通に対する需要増加が想定されることから、再編事業における大きなテーマの1つと考えておりまして、まずは本年度実施いたします現状の運行状況等の整理や市民アンケート等、利用者アンケート、こういった調査により情報収集に努め、福祉施策等の観点も踏まえた上で総合的に判断してまいりたいと考えております。

次に2点目「ココバス東町循環と中町循環など乗継券を実現すること」、併せて3点目「東町循環と中町循環の乗り継ぎについて、ダイヤ変更を検討すること」についてですが、これまで運行してまいりました京王バス路線「境81系統」の路線が減便されたことにより、現状、東町と武蔵小金井駅を結ぶバスにつきましてはC○C○バスの東町循環と中町循環のみとなっております。乗継ぎをする場合には、C○C○バスの中町循環2「中町二丁目」バス停と、東町循環11-2「東町四丁目西交差点」バス停の間が約110mとなっております。比較的距離が近く、乗継ぎがしやすい箇所となっております。しかしながら、現行ダイヤですと、東町循環から中町循環へ乗り継ぎをする際には約23分空いてしまう状況にあります。

本件については、京王バス路線が減便となる以前より要望として市に寄せられていたことから、昨年度、運行事業者であります京王バスと市担当者間で協議・検討を行ったところですが、ダイヤの変更が及ぼす多方面における影響についても十分に検証する必要がある、また、乗継券につきましても、当該路線のみならず、C o C oバス全体のサービスに関わる問題であることから、今年度より実施する再編事業の中で、まずは実際にダイヤ改正を要望されている、もしくは乗継ぎをされている利用者はどれぐらいいるのかといった需要や実態調査を行い、そうした実態を把握した上で検討を進めることの方が望ましいと判断したところでございます。

しかしながら、民間路線の京王バス路線の減便によって昨年度の検討時とは状況が大きく異なっており、今回、こうして提出のありました要請書及びそれに基づいて行った意見交換会を通じて、当該地域にお住まいの方が深刻な状況に置かれていることを再認識したところです。そこでダイヤ改正等により連結性を高めることで利便性の向上を図るべく、現在、京王バスと市の担当者として再度協議・検討を行っているところです。

最後に4つ目の「交通不便地域となっている東町1、5丁目について、C o C oバスミニの運行などを含めて改善すること」についてですが、市民の方が仰るとおり、当該地域の一部はC o C oバス含む路線バス等が通っていない交通不便地域となっており、従来から強い要望事項として認識をしているところです。しかしながら、当該地域においてはC o C oバスが運行するために必要な道路幅員を満たしていない箇所が多く、交通規制や、安全確保の関係等から、通行が困難な状況です。

こうした課題等を踏まえた上で、先ほどの回答と同様になりますが、本年度より実施する再編事業の中で、需要や必要性について十分に検討し、ミニバスの運行等を含めて総合的に判断してまいりたいと考えております。

前回の3月に開催した本会議において京王バスより報告があった際に、減便によりどういった影響が出るのか、また、市が打てる対策はないのか等、会議内で検討してほしかったといった思いから、提出された文書には、市への要請内容を参考にし、高齢者の実情を十分に考慮した対策を早急に本会議である地域公共交通会議で検討してほしいといった内容が記載されております。

事務局からは以上です。

## 会長

ありがとうございました。先ほどの坂本委員のご意見のように、この再編事業の中である程度長期的に見ていくべきことと、ダイヤの変更のように短期的にも対応できそうなことがあり、この件はその短期的にできそうなことに該当するかと思います。既に協議を始めているというご説明もありましたので、

今日の段階としては今までどおり事業者さんと一緒に対応を探っていたとということで、次回のこの会議においてその結果報告をしていただくとともに、何らかの改善方法があるのかという点についてはまた話をさせていただきたいと思います。

確かに京王バス路線が縮小される要因について、利用状況の問題や人員の問題等ご説明がありましたが、今後この件に限らず起こり得る話です。そのため、現状置かれている人手の問題については、逆に市民の方にも一定こういった現状にあるということをご理解いただくような説明の仕方が今後必要になってくるかと思います。その中で、どういう形だったら少しでもカバーできるのかが重要になります。

今回の路線はC○C○バスがある程度重複して走っており機能が被っていたということも縮小の1つの理由であったため、ではカバーする交通機関としてC○C○バスをいかに使えるかという話になってくると思います。

今後、市におかれましては、現行路線においてできることは何か協議していただき、次回報告をいただければと思います。

もう予定の時間を過ぎてしまいましたので、今日皆さんにご意見を個別に伺うことはしませんが、もし何かご意見等があれば事務局の方に寄せてください。

それでは、本日長時間にわたり大変お疲れ様でございました。少し予定時間を過ぎましたが、以上をもちまして平成30年度第1回小金井市地域公共交通会議を終了させていただきたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。